

第一中学校、第五中学校 改築懇談会 意見一覧

令和2年8月5日

【分類】○＝既定方針と合致、または整備方針に反映、△＝設計で検討、□＝運用で対応、無印＝その他

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
001	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	体育館メインアリーナは1階にすべき	1階に設置します	○
002	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	体育館の地下に避難所備品倉庫を設置する	地下はバリアフリー上の課題もあるため、備品倉庫は地上1階への整備を原則とします。	
003	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	体育館の2階は3部屋とし、平常時はサブアリーナ、災害時は避難所および一部を災害対策本部として使う	バリアフリー化、改築費用の縮減、仕様の平準化の観点、及び構造を単純化しメンテナンスにかかるコストを縮減するため、『武蔵野市学校施設整備基本計画』での面積上限を前提に、体育館は平屋建てを原則とします。	
004	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	体育館の3階は屋内プールとし、災害時は非常トイレ排水用の水源として利用可能とする	バリアフリー化、改築費用の縮減、仕様の平準化の観点、及び構造を単純化しメンテナンスにかかるコストを縮減するため、『武蔵野市学校施設整備基本計画』での面積上限を前提に、プールは屋外の平置きを原則とします。災害時のプール水の利用については、改築後の施設の配置等に合わせ、学校ごとに検討します。	□
005	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	感染者用の避難所として、普通教室が3～4教室必要となる可能性がある	普通教室も避難所として使用することを想定し、設えを工夫します。(ロッカーを教室外などに整備するなど)	△
006	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	障害者用の部屋として1教室必要	障害者も使える「おみやりルーム」として、校舎1階に開放用多目的スペースを整備します。	○
007	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	災害用アルストッカー(防災倉庫)は外に必要。建物安全確認ができるまで屋内に入れないため、すぐに使う物は外に収納する必要がある	初動用の備蓄倉庫は、マニュアルに沿った簡易的な安全確認を経ることで使用可能となるため、避難所の運営に有利な場所に配置します。	△
008	富岡	一中懇(2)(書)	避難所	自転車置き場は災害時のペットコーナーとして必要となる	屋根付きの駐輪場を整備します。	○

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
009	富岡	一中懇(2)(書)	ICT	コロナ対応、不登校対応等のため、オンライン授業を普通教室以外の特別教室等でも配信できる通信環境および機器を整備する	ICTは技術革新が早く、設備の更新頻度が多いことを念頭に、学校の改築においては、設備や配線の工事がしやすいよう、配管等を工夫します。 機器の整備等については、運用面の課題として別途検討します。	○ □
010	富岡	一中懇(2)(書)	その他	工事中は市の体育館、プールを優先利用できるようにする	工事中の授業実施については、運用面の課題として学校、市教委、市の三者で検討します。	□
011	富岡	一中懇(2)(書)	その他	工事中市の施設が利用できない場合は、旧中央図書館跡地に体育館を建て、今後各学校の改築時や災害時の避難所として利用することを検討する	工事中は、他の施設を借用することを前提として検討します。	
012	富岡	一中懇(2)(書)	手洗い	衛生管理のため、蛇口レバーはワンタッチで出せるものにする	感染症対策に効果的な設備を検討します。	○
013	富岡	一中懇(2)(書)	手洗い	改築後は各教室の出入り口付近に設置する	安全上最も効果的な位置となるよう、設計の際に検討します。	△
014	富岡	一中懇(2)(書)	手洗い	水栓の間に仕切りボードの設置が望まれる	感染症対策に効果的な設備を検討します。	○
015	富岡	一中懇(2)(書)	その他	日々の相談に対応できるよう、生徒の個別指導ができる個室を4～5室設置する	教育相談室、進路指導室、特別支援教室の指導教室等、規定の方針に沿って必要な諸室を整備します。	○
016	荻原	五中懇(2)(書)	防犯	地域の連携と学校防犯の問題点(空き教室が生じた場合なども)。QRコードの利用など。	防犯対策として門扉への電気錠を導入しますが、地域との連携に支障がないよう、関係者と協議をし、運用を決定します。	□
017	荻原	五中懇(2)(書)	避難所	避難所としての公衆衛生	避難所として必要な衛生対策を行います。感染症対策としては衛生資機材の配布、避難所運用の工夫、避難所利用者への広報等、運用面での対策を行います。	○ □
018	荻原	五中懇(2)(書)	避難所	冷房・暖房と換気について	体育館を含め、居室内はすべて冷暖房・換気設備を導入します。避難所開設時の冷暖房の稼働については、停電時の非常用電源の設置の可能性と合わせ、設計の際に検討します。	△
019	荻原	五中懇(2)(書)	避難所	洗面所の利用について	避難所として必要な衛生対策を行います。感染症対策としては衛生資機材の配布、避難所運用の工夫、避難所利用者への広報等、運用面での対策を行います。	○ □
020	荻原	五中懇(2)(書)	避難所	簡易トイレの設置について	設計の際に動線を検討します。	△
021	荻原	五中懇(2)(書)	避難所	個人情報の保護	避難所における個人情報の取り扱いについては、避難所運営の手引きに沿って、十分に留意します。	□

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
022	荻原	五中懇(2)(書)	避難所	掲示・通信手段を確保する	市の災害対策本部とはMCA無線による通信、避難所内部においては広報掲示板により連絡手段を確保する想定です。	□
023	荻原	五中懇(2)(書)	避難所	防災鍋設置場所(外部場所の確保)	各学校の状況に応じて設定します。	□
024	荻原	五中懇(2)(書)	建物配置	校舎の位置(伝統の継承)	校舎の配置は第3回の懇談会以後具体的に検討します。	
025	金子 (知)	五中懇(2)(書)	家庭科室	避難所開設時に調理室は1階が便利	家庭科室は災害時の炊き出し利用を考慮し、配置します。	○
026	金子 (知)	五中懇(2)(書)	避難所	非常用トイレは体育館近くに設営できるようにする	設計の際に動線を検討します。	△
027	金子 (知)	五中懇(2)(書)	避難所	大きい教室よりも、小さい教室が多くある方が避難所として使い勝手が良い	教室は教育上必要な面積とし、状況に応じた避難所利用を考えます。	□
028	金子 (知)	五中懇(2)(書)	屋内運動場	体育館の床をコルク材にすると、体育の授業でも安全で、避難所としても体に優しい	設計の際にコストを勘案しながら、授業実施、避難所運用の両面から材料を検討します。	△
029	金子 (知)	五中懇(2)(書)	校庭	天然芝の校庭は、砂ぼこりや水たまり、凍結などの対策となる	天然芝は管理負担が大きく養生期間が必要であるため、土舗装を原則とし、場合によっては人工舗装も検討します。	
030	島田	五中懇(2)(書)	避難所	防災本部を設置する部屋は、市の災害対策本部との連絡用通信機器の設置が必要である	避難所の本部は、体育館との連携が良く、かつ運営会議の開催を考慮し、20人程度が集合できる部屋とします。市との通信はMCA無線等を使用し、本部近くの、平常時にもアクセスしやすい部屋に設置することを想定しています。	△
031	島田	五中懇(2)(書)	避難所	防災本部を設置する部屋の近くに防災用公衆電話設置用端末を用意する必要がある	防災用公衆電話設置場所は、体育館もしくは体育館との連携が良く、管理がしやすい場所で、かつ避難者の居住スペースから一定の距離を取った場所に設定します。	△
032	島田	五中懇(2)(書)	避難所	避難所運営会議ができる部屋が必要	避難所の本部は、体育館との連携が良く、かつ運営会議の開催を考慮し、20人程度が集合できる部屋とします。	○
033	島田	五中懇(2)(書)	避難所	様々な避難者が来ることを前提に、使用できる部屋を用意する必要がある(妊婦、幼児、知的障害者、身体障害者、感染症患者、要介護3～5級の人等)	校舎1階の開放用多目的室をおもいやりルームとして使用できるようにします。	△
034	島田	五中懇(2)(書)	避難所	できるだけ1階、または避難所の近くに誰でもトイレを含むトイレを設置できるようにする	体育館を含め、各階に多目的トイレ、男女トイレを設置します。	○

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
035	島田	五中懇(2)(書)	避難所	非常用電源として使用できる太陽光発電設備を設置する	非常用電源として使用できる自立運転機能付きの太陽光発電設備を設置するとともに、蓄電池などの非常用電源の導入について検討します。	○
036	島田	五中懇(2)(書)	避難所	設備は全てユニバーサルデザインで設計してほしい	設備等はバリアフリー法に基づいて整備します。ユニバーサルデザインについては、設計の際に学校とも相談しながら検討します。	△
037	島田	五中懇(2)(書)	避難所	支援物資運搬車、およびごみ収集車が入り出できる通路を確保する	設計の際に動線を検討します。	△
038	島田	五中懇(2)(書)	避難所	体育館の近くに備蓄倉庫、防災倉庫、マンホールトイレを設置する	避難所となる体育館との連携を考慮し、備蓄倉庫、防災倉庫、マンホールトイレを設置します。	○
039	島田	五中懇(2)(書)	避難所	避難所とトイレの間はユニバーサルデザインであること	設備等はバリアフリー法に基づいて整備します。ユニバーサルデザインについては、設計の中で学校とも相談しながら検討します。	△
040	島田	五中懇(2)(書)	複合化	市としてどのように市有地を活用するか等の視点も必要。コミセンの場所の偏在、保育園用地不足、特別養護老人ホーム用地不足等に対し、いかに土地を有効活用するか	改築後しばらくは生徒が増えるため、複合化の予定はありませんが、将来的な生徒減等に備え、用途変更が容易となるよう、スケルトン・インフィルで設計します。	○
041	島田	五中懇(2)(書)	建築制限	公共施設として利用する場合の建築基準の見直しを検討すべき	現時点での用途地域の変更は難しいため、設計の工夫を行います。	
042	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	全体の防犯計画は、犯罪企図者の侵入を制御することの重要性を踏まえ、防犯設備の整備、管理諸室の配置、敷地内外の見通し確保等のハード面と、地域住民との連携等のソフト面の両面を視野に入れ、立案する必要がある。	設計の際に運用も含めた具体的な検討を行います。	△
043	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	敷地内外からの見通しを良くするため、植込みやブロック塀のフェンスへの変更するとともに、管理諸室について1階の昇降口が見える位置に設置したり、窓を大きく透明なガラスにする、などの工夫を行う	設計の際に運用も含めた具体的な検討を行います。	△
044	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	接近・侵入を制御するため、正門への防犯設備設置、来校者について出入口の限定等による動線管理、受付での記名及び名札の着用、警備員の配置等を行う	現在の市立学校ですで行っている事項については、改築後もより効果的に実施できるよう、設計と運用において検討します。	△ □

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
045	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	防犯設備の点検及び避難経路について、防犯マニュアルに基づく防犯訓練等を実施し、定期的な点検・評価を実施する	改築後の学校における防犯対策の運用で検討します。	□
046	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	防犯カメラとモニター録画、およびカメラ付きインターホンと電気錠の設置など、防犯設備を積極的に活用する	防犯カメラモニター録画については、改築後の学校も引き続き設置します。カメラ付きインターホンと電気錠は改築後の学校の標準仕様として設置する予定です。	○
047	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	さすまたやカラーボール等を常備するとともに、防犯マニュアルを作成し、地域との連携を進める	現在の市立学校ですで行っている項目については、改築後もより効果的に実施できるよう、運用の中で検討します。	□
048	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	防犯設備の設置について、計画的に導入を図る	設計の際に、効果的な設備の機種や配置について、学校および関係者と協議を行います。	△
049	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	校門の厳格な管理は、遅刻してしまう生徒にとって不登校の潜在的リスクであることを考慮し、生徒に対しては常に開かれた門になるよう、配慮する	学校の安全確保を前提に、カメラ付きインターホンと電気錠は改築後の学校の標準仕様として設置する予定です。生徒への運用についてはご意見を参考に、学校ごとに検討します。	□
050	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	暗くなった場合や生徒同士のトラブル・いじめのリスクに備えるため、教職員の目が届く動線を確保し、視野角が広く、夜間でも高性能な防犯カメラや通報装置を設置する。	設計の際に、効果的な設備の機種や配置について、学校および関係者と協議を行います。	△
051	濱口	五中懇(2)(書)	防犯	プール等は外部から見えることへのリスクに備え、目隠し板の設置等の配慮が必要である	外部からの視線に配慮した設計とします。	△
052	濱口	五中懇(2)(書)	安全	部活動における傷害事故を防止するため、設計時に競技間のディスタンスを考慮する	各施設の上限面積の中で安全を確保できるよう、設計の際に検討を行います。	△
053	濱口	五中懇(2)(書)	安全	生徒数増加を考慮し、運動時の安全を確保するため、体育館の2層化を検討する。費用は設計エンジニアリングで抑制しながら、多目的室等としての活用も検討する	バリアフリー化、改築費用の縮減、仕様の平準化の観点、及び構造を単純化しメンテナンスにかかるコストを縮減するため、『武蔵野市学校施設整備基本計画』での面積上限を前提に、体育館は平屋建てを原則とします。	
054	濱口	五中懇(2)(書)	安全	転落事故防止のため、万一の転落時に植栽等で衝撃を緩和できるよう、外構のレイアウトを考慮する	設計の際に検討します。	△
055	濱口	五中懇(2)(書)	安全	事故発生時に職員室へ円滑な通報を確保する仕組みを導入するとともに、AEDの設置場所を考慮する	建物内、建物間に内線電話を導入します。AEDの設置場所については、運用において検討します。	○ □
056	濱口	五中懇(2)(書)	バリアフリー	エレベーターの設置は必須。合わせて、エレベーターが不必要な生徒の利用及びそれに伴う事故防止のため、電子カードキー等の採用を検討する	バリアフリー法に基づき、エレベータを設置します。エレベータの安全対策等については、運用において学校と相談し、決定します。	○ □

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
057	濱口	五中懇(2)(書)	バリアフリー	階段は転倒事故防止のため、手すりを左右に設置する	原則として手すりを左右に設置します。	○
058	濱口	五中懇(2)(書)	バリアフリー	性同一性障害やオストメイトの需要に配慮し、多目的トイレを1か所以上に設置する	体育館を含め、各階に多目的トイレを設置します。	○
059	濱口	五中懇(2)(書)	バリアフリー	視覚障害者に配慮し、点字案内・誘導ブロックを設置する	バリアフリー法に基づき、必要な箇所に設置します。	○
060	濱口	五中懇(2)(書)	地域開放	学校開放は地域との共生の中で必要な範囲とし、物理的なゾーニングにより明確にエリアを分けて、セキュリティを確保する	設計の際にゾーニングを検討します。	○
061	濱口	五中懇(2)(書)	避難所	内閣府『避難所運営ガイドライン』を考慮し、プール施設での温水シャワー・手すりの整備を図る	プールに温水シャワーを設置する予定ですが、避難所での入浴目的を満たす手段については、別途運用で検討します。	□
062	濱口	五中懇(2)(書)	避難所	避難所における新型コロナウイルスへの対応は、運営面でのリスクコントロールが有効である。設備面では通常の学校としての配慮を行う。	感染症対策としては、衛生資機材の配布、避難所運用の工夫、避難所利用者への広報等、運用面での対策を行います。	□
063	藤井	五中懇(2)(書)	感染症対策	施設・設備面での感染症対策として、床はカーペットにしない、換気口・サーキュレーター・網戸の設置等を検討する	今年度を実施する換気実験の結果を踏まえ、備えるべき設備を決定します。	△
064	藤井	五中懇(2)(書)	その他	給食調理場の設置	『学校施設整備基本計画』の方針にのっとり、給食調理施設は小学校に設置しますが、中学校は共同調理場からの配送とします。	
065	藤井	五中懇(2)(書)	その他	むさしのクレスコーレの補完として、校内フリースクールの設置について検討する	『不登校児童生徒の多様な学び場のあり方検討委員会報告書』(令和2年2月)において、小学校の教育相談室や特別支援教室などの場を使用していない曜日に「校内チャレンジルーム(仮称)」として有効活用するための体制作りの必要性が記載されています。このことから、小学校の改築の際には、教育相談室や特別支援教室などを校内チャレンジルームとして使用することを想定し、設計します。	
066	藤井	五中懇(2)(書)	ICT	ウェブ授業対応の施設・設備を充実させる	ICTは技術革新が早く、設備の更新頻度が多いことを念頭に、学校の改築においては、設備や配線の工事がしやすいよう、配管等を工夫します。 機器の整備等については、運用面の課題として別途検討します。	○ □

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
067	藤井	五中懇(2)(書)	温暖化対策	テントは強風に弱いため、校庭に防災パーゴラ等を設置することについて検討する	設計の際に熱中症対策について検討します。	△
068	藤井	五中懇(2)(書)	防災	ガラスを多用しない等、耐震・防風対策を充実させる	安全性を確保した設えとなるよう、設計の際に検討するとともに、飛散防止措置を取るなど、必要な対策を行います。	△ □
069	藤井	五中懇(2)(書)	防犯	不審者を目視できるよう、受付・事務室・学校施設管理員詰所は1階に設置する	可能な限り1階に配置します。2階になった場合でも、外部からの出入りを管理できる配置とします。	○
070	藤井	五中懇(2)(書)	地域開放	大野田小のけやきホールのような施設がほしい	設計の際に、『学校施設整備基本計画』での上限面積の範囲で、開放的な空間の設えを検討します。	△
071	藤井	五中懇(2)(書)	緑化・環境	現在の中庭やビオトープのような、憩いの場所がほしい	定められた緑化割合を遵守することを前提に、設計の際に検討します。	△
072	藤井	五中懇(2)(書)	建物配置	校地の南側に校舎を配置すると、校庭が日陰になり、雨・雪の後グラウンドが乾きにくく、使用できない期間が長くなる	建物配置については、複数の案をお示しし、長所と短所を比較しながら検討する予定です。	
073	藤井	五中懇(2)(書)	建物配置	井ノ頭通りに校舎が近いと、騒音の心配や、防犯上の課題が多い。	建物配置については、複数の案をお示しし、長所と短所を比較しながら検討する予定です。	
074	藤井	五中懇(2)(書)	仮設校舎	五小改築中、現在の五中の校舎に五小の児童が入る場合、安全管理上多くの問題がある	安全を確保するため、登下校時、校内の設え、五中生徒と五小児童の動線管理等、あらゆる面での対策を行います。	○
075	藤井	五中懇(2)(書)	仮設校舎	緊急時、学童クラブは医療従事者・エッセンシャルワーカーの子どもを預かる最後の砦となるため、五小改築中、地域子ども館をどこに設置するかは重要な課題。	改築中であっても、地域子ども館を安全に運営できるよう、必要な施設を確保します。	○
076	藤井	五中懇(2)(書)	仮設校舎	今年度、五小学童クラブの登録児童数は100名を超えている。登録児童数は年々増加しており、100名超の児童を収容するには西久保コミセンのワンフロア程度が必要になる。	学童クラブとしての必要規模については、児童数推計をもとに、所管の児童青少年課と協議します。	○
077	藤井	五中懇(2)(書)	避難所	非常用電源としての蓄電池・石油ガス災害バルクの設置を検討する	非常用電源として使用できる自立運転機能付きの太陽光発電設備を設置します。蓄電池などの非常用電源については、設計の際に停電時の使用電力量の想定から、設置の可能性を検討します。	○ △
078	藤井	五中懇(2)(書)	避難所	避難所機能の最適化として、災害用トイレの配置を工夫するとともに、和式トイレを廃止する	設計の際に検討します。	△

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
079	藤井	五中懇(2)(書)	避難所	地震の際の揺れ方は校舎により異なるため、渡り廊下は崩落する可能性が高い。	設計の際に検討します。	△
080	藤井	五中懇(2)(書)	避難所	屋外で屋根のある場所があれば、雨天時でも防災鍋が使用できる	庇や屋根付き駐輪場等で使用可能ですので、各学校の状況に応じて設定します。	○
081	藤井	五中懇(2)(書)	その他	鳩等の糞害対策が必要	設計および運用の中で検討します。	△ □
082	藤井	五中懇(2)(書)	緑化・環境	卒業式・入学式のために、桜・八重桜の植栽がほしい	設計の際に検討します。	△
083	藤井	五中懇(2)(書)	その他	駐輪場を建物の屋根・庇の下に設置できると良い	屋根付きの駐輪場を整備します。	○
084	長嶋	一中懇(2)(言)	建物配置	正門の位置は変わるのか。コミセンとの連携上、門の位置は重要である。	現在の第一中の正門は、安全な「かたらいの道」に面し、コミセンとの連携上も重要であることから、改築後も位置を変えないで今後の検討を進めます。	○
085	平田	一中懇(2)(言)	建物配置	音楽ホールは残すのか。	音楽ホールを残しながら今後の検討を進めます。	○
086	伊東	一中懇(2)(言)	緑化・環境	エコスクールプラスの活用、特に天然芝、ピオトープの設置について再考を。	使用制限の発生や管理負担の大きさを鑑み、校庭への天然芝導入は行わないこととします。その他の緑化対策については、イニシャルコスト、ランニングコスト、教育面の効果等を総合的に考慮し、設計の際に導入可能な項目を検討します。	△
087	三原	一中懇(2)(言)	防犯	防犯対策を検討するにあたり、メリット・デメリットを示してほしい	改築後の学校の新たな標準として、門扉の電気錠および、内線電話の設置を考えています。メリット・デメリットは以下のとおりですが、学校外の方も含めたあらゆる利用者を想定し、関係者と協議し、学校の実情に合わせた運用ができるよう、設計の際に検討します。 電気錠メリット: 来校者を管理できる。校内のセキュリティが高まる。 電気錠デメリット: 使用中は、日常的な出入りがしにくい。来校者の確認、開錠の手間が増える。 内線電話メリット: 校内での連絡通信手段が確保できる。 内線電話デメリット: 設備の管理保守のコストが増える。	○ □
088	檜原	一中懇(2)(言)	校庭	野球のマウンドは改築後も残るのか	現在のところ残す方向ですが、正式には設計の際に決定します。	△

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
089	梶原	一中懇(2)(言)	緑化・環境	落ち葉溜めは改築後も残してほしい。	改築後の活動予定を鑑み、判断します。	△
090	磯川	一中懇(2)(言)	地域開放	中央コミセンが目の前にあるので、改築後の学校に地域交流のためのスペースを作る必要があるのか	平常時は地域に開かれた学校とし、非常時は避難所として使用するために、地域開放のためのスペースを整備します。	
091	平田	一中懇(2)(言)	建物配置	プールはどこに配置するか	各学校改築の費用、仕様の平準化を図るため、『武蔵野市学校施設整備基本計画』での面積上限を前提に、プールは屋外の平置きを原則とします。	
092	塚田	五中懇(2)(言)	その他	(内装に)木材の使用を考慮してほしい	原則として、『東京都標準建物予算単価』に沿った仕様としますが、補助制度の活用を前提に、設計の中で木材(多摩産材)の積極的な使用を検討します。	△
093	塚田	五中懇(2)(言)	避難所	太陽光発電と蓄電池をセットで整備し、停電時にも利用できるようにしてほしい。	非常用電源として使用できる自立運転機能付きの太陽光発電設備設置するとともに、蓄電池などの非常用電源の導入について検討します。	○ △
094	塚田	五中懇(2)(言)	避難所	BEMSを導入し、蓄電池に夜間電力を蓄電して、省エネルギー化を図るなど、常用兼非常用のエネルギーの仕組みを構築してほしい	環境配慮型施設(省エネ等)について、今後研究します。	
095	藤井	五中懇(2)(言)	その他	性同一性障害への対応として、更衣室を男女の区別だけで良いのか	多目的トイレで更衣可能とするなど、運用で対応します。	□
096	藤井	五中懇(2)(言)	屋内運動場	武道場との兼用では、柔道は置き畳になるのか	置き畳で考えています。	
097	沖山	五中懇(2)(言)	家庭科室	家庭科室が1室となっているが、調理と被服では作業台の高さが違う。その点への配慮があるか、もしくは調理台優先であれば、多目的室等を被服で使用することも想定可能か。	1室の中に調理と被服の実習に必要な機能を備えるため、調理と被服を兼用できる実習台を設置するなど、設計の際に設えを検討します。また、運用で他の教室を使っていたことは可能です。	△
098	秋山	五中懇(2)(言)	地域開放	中学校は地域開放の実績があまりないので、生徒のセキュリティと開放のエリアをきっちり分けて、開放エリアは自由度を持たせた使い方ができるようにすると良い	学校教育と地域開放が安全かつ自由に活動できるよう、設計の際にゾーニングを検討します。	○
099	秋山	五中懇(2)(言)	その他	事務室、事務職員の使い勝手についての検討も必要	設計の中で検討します。	△
100	金子 (孝)	五中懇(2)(言)	避難所	避難所としては、開放用の部屋が多いほど良い。	非常時には体育館以外の学校施設を避難所として活用できるよう、設計及び運用において検討します。	△ □
101	吉西コミ	地域ヒアリング	避難所	災害時にコミセンに設置する支えあいステーションと学校避難所の連携システムを明確に整理してほしい。	今後、防災課、市民活動推進課、コミュニティ協議会の三者で検討を行います。	□

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
102	吉西 福祉の会	地域ヒアリング	地域開放	地域の関係団体が自由に使える「コミュニティルーム」の設置を望む。	開放用多目的室を各学校に設置します。	○
103	吉西 福祉の会	地域ヒアリング	避難所	コミセンとの関係で、高齢者および乳幼児等、災害弱者のための専用施設をあらかじめ決めておく必要がある。	今後、防災課、市民活動推進課、コミュニティ協議会の三者で検討を行います。	□
104	吉西 福祉の会	地域ヒアリング	地域開放	校庭開放の拡充とPRの充実を望む。地域住民が土・日・祝日等自由に使えるように開放する。	校庭開放の効果的な広報について検討します。	□
105	吉西 福祉の会	地域ヒアリング	地域開放	極力開かれた学校づくりを。学校が生徒以外の居場所としても機能することが望ましい。	学校教育の場であることを原則としながら、地域に開かれた学校となるよう、設計の際にゾーニングで工夫します。	△
106	西久保 福祉の会	地域ヒアリング	建物配置	井ノ頭通りから学校に入ると、三鷹駅(西久保一丁目)からのアクセスが大分便利になる	改築後も井ノ頭通りに接する面に門を設置します。門の使用については運用面での課題であると考えます。	□
107	五小避難所 協議会	地域ヒアリング	避難所	屋内運動場と倉庫・トイレとの連携のほか、荷捌きスペースまで総合的に考えて配置をする必要がある	設計の際に検討します。	△
108	五小避難所 協議会	地域ヒアリング	安全	安全確保のため、平常時も歩車の動線を完全に分離する	設計の際に、歩車を分離できるよう配慮します。	○
109	五小避難所 協議会	地域ヒアリング	避難所	多くの人が避難して、体育館が満員になったときに備えて、普通教室の開放順を想定しておいてほしい。	非常時には体育館以外の学校施設を避難所として活用できるよう、設計及び運用において検討します。	△ □
110	西一町会 自主防災	地域ヒアリング	避難所	西久保2～3丁目は五小、西久保一丁目は五中が避難所となっているが、災害時井ノ頭通りを渡ることが難しいことも想定され、特に高齢者はコミセンの方が避難しやすい。在宅避難の支援を町会が担えればと考えている。	支え合いステーションのあり方については今後、防災課、市民活動推進課、コミュニティ協議会の三者で検討を行います。避難所の指定は目安であり、その避難所へ必ず避難しなければならないものではありませんので、安全に行くことができる避難所に避難していただくこととなります。物資供給については、配布方法をいち早く確実に市民に伝える手法を構築し、情報提供できるよう努めます。	□
111	西一町会 自主防災	地域ヒアリング	避難所	地震が起きたらすぐに避難所に避難しようとする市民も多いが、耐震化された家にいたほうが安全な場合もある。在宅避難についてもっとPRが必要ではないか。一人暮らしの高齢者など、在宅に不安がある市民はコミセンに集まってくると思う。	支え合いステーションのあり方については今後、防災課、市民活動推進課、コミュニティ協議会の三者で検討を行います。物資供給については、配布方法をいち早く確実に市民に伝える手法を構築できるよう努めます。	□
112	藤井	地域ヒアリング	避難所	五中は立地上帰宅困難者が多く発生することが予想されるため、その想定も必要ではないか。	避難所における帰宅困難者対応の想定はありませんが、避難所に帰宅困難者が避難してきた場合は対応します。	□

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
113	御殿山 福祉の会	地域ヒアリング	避難所	御殿山地区の避難所は井之頭小学校となっているが、高架下を潜り抜けなければならない、避難が難しいケースが想定される。	避難所の指定は目安であり、その避難所へ必ず避難しなければならないものではありませんので、安全に行くことができる避難所に避難していただくこととなります。	□
114	富岡	一中懇(3)(書)	避難所	防災倉庫を100㎡→200㎡へ拡張希望	段ボールベッドについては流通備蓄でまかなうことを想定しているため、防災倉庫は100㎡で充足します。	
115	富岡	一中懇(3)(書)	避難所	非常時、停電時にもプールの水を利用可能とするよう施設配置と設備を工夫する	設計の際に検討します。	△
116	富岡	一中懇(3)(書)	避難所	現在と同様、体育館の中に非常通信設備等がそろった避難所本部が設置できるようにするのが望ましい。	避難所の本部は、体育館との連携が良く、かつ運営会議の開催を考慮し、一定の人数が集合できる部屋とします。	△
117	大坪	五中懇(3)(書)	連携・協働	チーム学校の一員として、平常時の地域団体との連携・協働についてのイメージを示してほしい。	現在の学校・家庭・地域をめぐる課題を踏まえた上で、それぞれの負担を軽減し、地域と学校が生徒に対してどのような資質・能力を育むかという目標を共有して連携・協働する体制へ発展させるよう、検討を行っていきます。	
118	大坪	五中懇(3)(書)	連携・協働	議論の内容が細かすぎる。議論の過程においてSDG'sのアイコンや手法を活用し、議論のゴールが見える化できるとスムーズに意見交換できるのでは	これまでいただいたさまざまなご意見について、今年度の改築基本計画策定において参考とする項目、来年度の設計の際に検討すべき項目、運用で対応すべき項目、その他に分類しました。	
119	島田	五中懇(3)(書)	避難所	家庭科室が「災害時の炊出し実施も想定し施設を計画します」とありますが、都市ガスが使えなくても炊出しができるようになっているのですか？例えばプロパンガス仕様になっているとか	家庭科室の使用想定は、ライフラインの復旧を前提としています。別途、ライフライン復旧までの炊き出しに対応できるよう、屋外の屋根付きスペースを確保します。	△
120	島田	五中懇(3)(書)	バリアフリー	校舎並びに体育館に車いすでも容易に出入りが出来るようにお願いします。	バリアフリー法に基づき、車いす使用が可能となるよう整備します。	○
121	島田	五中懇(3)(書)	避難所	第五小学校・関前南小学校が改築時には避難所の数が減るので避難者が増える可能性がありますので、そのことを考慮した、備蓄倉庫・防災倉庫にして頂きたい	改築時は仮設校舎を避難所とする予定です。仮設校舎の詳細が決まり次第、収容人数、倉庫の配置、運用具体的な想定及び、代替の避難施設等の検討を行います。	
122	島田	五中懇(3)(書)	その他	生徒数の推移について、現在五中の生徒数が少ない理由を分析して、改築の影響を判断する必要がある。進学率の急な変更により教室不足が発生することが無いよう、余裕を持って計画して頂きたい。	通学率は年度により上下するため、人口推計を実施した年から直近5年程度の平均値を用いて生徒数を推計しています。改築する学校については、最新の推計における最大数に合わせた整備を行います。	

番号	氏名 (団体名)	意見方法	テーマ	意見要旨	回答	分類
123	荻原	五中懇(3)(書)	その他	生徒や教職員の動線、教室配置の検討	設計の際に、各諸室の配置(ゾーニング)と動線の検討を行います。	△
124	荻原	五中懇(3)(書)	その他	室内は明るいことは大事だが、木材を配置し落ち着いた色調に	原則として、『東京都標準建物予算単価』に沿った仕様としますが、補助制度の活用を前提に、設計の中で木材(多摩産材)の積極的な使用を検討します。	△
125	荻原	五中懇(3)(書)	屋内運動場	教室数の増加を考えると、グラウンドや緑化スペースの確保のために、体育館は地下を作るか2階建てを考へても良いのでは	バリアフリー化、改築費用の縮減、仕様の平準化の観点、及び構造を単純化しメンテナンスにかかるコストを縮減するため、『武蔵野市学校施設整備基本計画』での面積上限を前提に、体育館は平屋建てを原則とします。	
126	荻原	五中懇(3)(書)	その他	情報・技術革新の変化が速いので、メンテナンスや改装のしやすい構造設計	施設の改修や設備の更新を行う際に、できるだけ授業に影響を与えずに工事ができるよう、配管等を工夫します。	○
127	荻原	五中懇(3)(書)	緑化・環境	各建物の屋上・壁を利用し、思い切った太陽光発電(自然エネルギー)の利用	自立運転機能付きの太陽光発電設備を設置します。	○
128	荻原	五中懇(3)(書)	防犯	教育部分と地域(施設)開放部分のセキュリティ。校内防犯と「開かれた学校」のバランス。	防犯対策が地域との連携に支障をきたさないよう、関係者と協議をし、運用を決定します。	□
129	荻原	五中懇(3)(書)	避難所	時代の要請にかなった避難所としての施設・設備の充実	『武蔵野市地域防災計画』に沿って避難所としての施設・設備を整備していきます。	○
130	濱口	五中懇(3)(書)	屋内運動場	①生徒数増加の見通し、②柔道等の畳スペースの不足、③五小の改築工事中に五小児童が五中に同居すること、④改築後の生徒数増加のリスク、⑤避難所としての感染症対策、⑥今後長期(60年以上)にわたる教育・防災拠点としての使用、を踏まえ、体育館の2層化が必要。特に③④の理由から、仮設校舎を建てずに節約した費用で体育館の2層化を図り、小中学生を同時に受け入れるべき。	バリアフリー化、改築費用の縮減、仕様の平準化の観点、及び構造を単純化しメンテナンスにかかるコストを縮減するため、『武蔵野市学校施設整備基本計画』での面積上限を前提に、体育館は平屋建てを原則とします。	